

種の方々に執筆していただく予定です。本年度も肝疾患医療センターは皆様のお役に立てるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今月の肝ぞう通信では 3 月に当センターを訪れたベトナムの研修団についてご紹介させていただきます。

ベトナムの研修団が東海大学医学部付属病院肝疾患医療センターを視察に訪れました。

伊勢原キャンパスの医学部付属病院肝疾患医療センターでは 2025 年 3 月 12 日に、ベトナム保健省職員らの研修を受け入れました。本研修は、独立行政法人国際協力機構（JICA）がベトナム保健省予防医療局を対象に展開する「ウイルス性肝炎予防対策強化プロジェクト」に協力したもので、国立衛生疫学研究所副所長のチャン・ニュ・ズウン氏ら 13 名が来訪されました。

初めに私と診療技術部栄養科の安積正芳係長が、本病院の概要やセンターの取り組み、入院患者に提供する食事について説明しました。院内見学では、第 4 診療センター（消化器内科・外科）で医師・看護師が外来診療の流れを説明し、臨床検査技師が生理検査と検体検査の機器を紹介。栄養指導室、相談支援室では管理栄養士とソーシャルワーカーが、スタッフの体制や具体的な支援・相談内容を説明しました。研修団からは各所で多くの質問が寄せられ、職員らが丁寧に回答しました。終了後にはズウン氏があいさつし、「ベトナムでは B 型・C 型肝炎の陽性率が高く、その対策が大きな課題となっています。今日は講義や医療現場の見学を通じて、効果的な肝炎対策について多くの学びを得ることができました。今後の予防政策に生かしていきます」と述べられ、本研修の成果をベトナムでの肝炎対策に生かすことを誓って帰られました。



《著者紹介》



加川 建弘（かがわ たてひろ）

東海大学医学部消化器内科 領域主任教授
診療科長 肝疾患医療センター長

1961年生 奈良県出身

1986年 慶應義塾大学医学部卒

1999年～2001年アメリカ タフツ大学留学

日本内科学会総合内科専門医 指導医、日本消化器病学会専門医 指導医、日本肝臓学会専門医 指導医、日本消化器内視鏡学会専門医 指導医、厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員、神奈川肝炎対策協議会会長、神奈川県肝疾患審査会委員、神奈川県がん・重度肝硬変認定審査会委員、神奈川県社会福祉審議会委員